

会 議 録

会議名	令和3年度 第1回丸亀市総合教育会議
開催日時	令和3年5月24日(月) 13:30~14:20
開催場所	丸亀市役所3階303・304会議室
出席者	<p>出席委員 松永恭二(市長)、金丸眞明(教育長)、徳永秀文、土方実加、松岡舟、福田康知 (以上敬称略)</p> <p>事務局 市長公室長 横田拓也 (市長公室秘書政策課) 課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、大川智</p> <p>市出席者 教育部長 七座武史 (教育部総務課) 課長 吉野隆志、副課長 高倉鋭悟 (教育部学校教育課) 課長 菅佳久、副課長 横山友亮 (教育部幼保運営課) 課長 黒田千絵</p>
議 題	<p>(1) 丸亀市教育大綱見直し方針について</p> <p>(2) 就学前の英語教育の現状について</p>
傍聴者	0人
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	ただ今から令和3年度第1回丸亀市総合教育会議を開会します。はじめに、4月に就任されました松永新市長よりごあいさつを申し上げます。
松永市長	<p>こんにちは。丸亀市長になって約1ヶ月となります松永恭二でございます。</p> <p>私は、まちづくりを行ううえで教育が一番大切であるとともに、教育環境の充実がまちづくりに直結するものと思っております。市長として未熟な部分もあると思いますが、教育長や教育委員の皆様からのご指導を賜りながら、一生懸命取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
窪田課長	<p>本日の協議事項は「(1) 丸亀市教育大綱見直し方針について」と、「(2) 就学前の英語教育の現状について」の2件であります。</p> <p>なお、本日の会議は議事録作成支援システムを使用し、会議を記録いたしますので、恐れ入りますが、発言される際には、お手元のハンドマイクを使用し、発言するようお願いいたします。</p> <p>それでは会議の進行につきましては、松永市長よりお願いいたします。</p>
松永市長	まず、議題(1)「教育大綱の見直し方針について」事務局より説明をお願いします。

窪田課長	<p>丸亀市教育大綱は、平成 27 年 4 月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い設置された、この総合教育会議で議論を重ね、平成 27 年度に策定いたしました。その後、令和元年 10 月の総合教育会議において一部の文言修正をしたうえで、2 年間の期間延長を行っておりますが、現大綱の期間が令和 3 年度までとなっておりますので、令和 4 年度からの新しい教育大綱を定めるにあたっての見直し方針をご説明させていただきます。</p>
大川	<p><資料に基づいて説明></p>
土方委員	<p>教職員の働き方改革を進めるにあたり、持続可能な部活動の指導・運営に係る体制を構築することは大切なことだと思います。</p> <p>そこで、部活動の体制について、例えば野球部やサッカー部では、男女が同じチームで活動している学校がある一方で、活動をしたいという子どもからのニーズがあっても、指導者の確保が困難であることなどを理由に、部活動ができない学校もあるとお聞きしています。男女が同じチームで活動できそうな部活もあると思いますが、その基準などがあれば教えてください。</p>
菅課長	<p>男女が同じチームで活動するための基準などは設けておりません。現在、中学校における体育の授業も男女共修になってきているところですが、例に挙げられた野球部やサッカー部については、小学校時代に経験があり、男子と同じチームであっても怪我なく活動できる女子が多いとお聞きしています。</p> <p>また、部活動とは別にクラブチームに所属している子どもが多く、クラブチームの練習のない日に部活動を行うケースが多いようです。</p> <p>いずれにしても、そのスポーツの経験のない女子が男子と一緒に部活動を行うのは難しい面もあることのほか、個別の状況や顧問の数などにより学校間の差が出ているものと思われまます。</p>
松岡委員	<p>GIGA スクール構想で、子どもたち一人ひとりに個別最適化されるとありますが、現在、通信教育などにおいて、特別支援学級の子どものなどに対し、本人の学習到達レベルに合わせた課題を AI が判断して出しています。今後 ICT 教育を進めるにあたり、このような学習方法も考えられるのでしょうか。</p>
横山副課長	<p>GIGA スクール構想における個別最適化について、特別支援学級の子どもたちの学習状況などは専用アプリなどを活用し、記録に残すことで、状況に応じた個別学習を進めていくことになると思います。令和 3 年度に始まったばかりで、十分な活用に至っていない点もありますことから、いただいたご意見を参考にしながら個別最適化された学習方法を研究してまいりたいと考えております。</p>

松岡委員	<p>以前、市外の特別支援学級を担当している先生から、対象者が多くなると個別の課題設定などが難しくなるとお伺いしたことがあります。AIを活用することができれば働き方改革にも役立つのではないかと思います。</p>
土方委員	<p>子どもたちを誰一人取り残さないという目標を実現するためには、教職員の多様性への理解が必要不可欠であると思います。集団生活となると同調圧力が働き、他人と違うことに悩み、生きづらさを感じる子どももいると思いますので、これからの子どもたちには、人との違いや多様性を受け入れる心を育てて欲しいと願っています。</p> <p>そこで、ICT教育の充実と並行し、多様性などを学ぶ人権教育への取組に一層力を入れていただくとともに、新型コロナウイルス感染症による差別への対応もお願いできればと思います。</p>
菅委員	<p>新しい人権課題として、新型コロナウイルス感染症に関する人権教育を各学校において積極的に進めております。また、多様性を受け入れる子どもたちへと育てていくことは、非常に大切なことであると認識しておりますので、教育委員会と学校が力を合わせ充実させてまいります。</p>
金丸教育長	<p>丸亀市では、外国籍の子どもたちに対し、10年以上にわたり教育実践を積み重ね、県下においても先進的な取組をしています。日本の子どもたちが様々な国の子どもたちと、共に学び、違いを認め合う多文化共生教育を丸亀の特色ある教育として、引き続き進めてまいりたいと思っております。</p>
福田委員	<p>生涯学習センターやマルタスのあり方など、今後の方針はありますか。</p>
窪田課長	<p>生涯学習センターやマルタスのあり方を含めた今後の方針については、担当課と協議しながら進めていくところですが、大綱にこれらの詳細な内容を記載することにはならないと思います。大綱で踏まえるべき必要な記載については、関係課と十分に協議を行いながら進め、8月の見直し素案の中でお示しさせていただきます。</p>
徳永委員	<p>教育大綱の見直しに係る方向性に、進行管理の中で個別事業をひもづけることで、取組の見える化を図り、その進捗状況を総合教育会議に報告して進行管理するとありますが、具体的に考えていることをお示しいただくとより分かりやすいと思います。</p>
大川	<p>具体例で申し上げますと、小中・地域連携教育については、基本目標 I 【子どもの教育】 の、「施策の方向性 3」に基づいて実施しておりますが、教育大綱のどの部分に基づいて事業に取り組んでいるか明示しておりませんでした。このことから今後は、教育委員の皆様にご報告していきたくて考えております。</p>

徳永委員	<p>総合教育会議が、教育大綱に基づく各種事業の進捗状況を確認していく会議に変わるということでしょうか。または、これまで同様、進捗管理のほかに教育に関する様々課題について意見交換を行っていくということによろしいでしょうか。</p>
窪田課長	<p>総合教育会議の位置付けを変える話ではありません。教育大綱は、教育における総合的な施策の目標や方向性を定めるものとなっておりますが、これまで大綱のどの部分に基づいて、市や教育委員会が取り組んでいる事業かお示しできていませんでした。見直し方針には、大綱の目標や方向性に対して取り組む事業と、その進捗状況を確認していただく場の一つとして、総合教育会議でもご報告していきたいという意味を込めて記載しています。</p> <p>また、総合教育会議では、教育に関する課題などについても、引き続きご協議いただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。</p>
土方委員	<p>コミュニティ・スクールの説明で、地域住民が学校運営に参画し、保護者や地域のニーズを学校に反映させるために開始したと受け取れますが、具体的にどのようなニーズがあるのか教えてください。</p>
菅課長	<p>保護者や地域の一方からだけのニーズではなく、学校のニーズも含めてお互いに意見交換をしながら、地域とともに学校を作り上げていくという意味で記載しております。具体的には、学校評価の前の各学校の運営方針を決定するところで、保護者や地域の声を取り入れるという意味でニーズを反映していきたいと考えております。</p> <p>今後は、コミュニティ・スクールの在り方や、どんな子どもを育てていくかななどを、学校・地域・家庭で意見交換しながら共有してまいりたいと考えています。</p>
土方委員	<p>学校・地域・家庭が連携し、子どもたちのためにアプローチしていく意味合いでよろしいでしょうか。</p>
菅委員	<p>お見込みのとおりです。</p>
松永市長	<p>次に議題（２）「就学前の英語教育の現状について」に移ります。</p> <p>丸亀市から世界で活躍する子どもを育てていくためには、グローバル、国際的な視点が大切であることから、就学前の子どもたちに幼児教育の中で英語に親しむ機会を作りたいという思いが私自身にあります。</p> <p>まずは、就学前の英語教育の現状について、事務局より説明をお願いします。</p>
黒田課長	<p><資料に基づいて説明></p>
松永市長	<p>ペーパーサートとはどういうものですか。</p>

黒田課長	<p>子どもたちに絵を見せて、その描かれた内容を英語で答えてもらうなど、絵を用いて会話を行う手法です。</p>
松岡委員	<p>公立園で英語教育をして欲しいという要望があったのでしょうか。</p>
松永市長	<p>市長選挙に出馬するにあたり、市民の皆様にもちづくりへのご意見を伺うとともに、自分の思いをお話するために、対話を重ねてまいりました。そのご意見の中で、就学前の子どもたちに英語教育をして欲しい要望を、多くの保護者から伺いました。</p> <p>事務局で英語教育に関する要望を聞いたことはありますか。</p>
黒田課長	<p>公立園に通わせている保護者から、英語教育をプログラムとして取り入れて欲しいという要望は伺っておりません。例示した私立園は、日常会話や教材などがすべて英語であることが園の特徴になっていると認識しております。</p> <p>また、カリキュラムとして幼児教育に取り入れることは、教職員にとってかなりの負担になると考えております。</p>
金丸教育長	<p>市長がご意見を伺った中で、保護者は具体的にどのようなことを要望されていたのでしょうか。</p>
松永市長	<p>要望をまとめると、日常の遊びの中で、英語に親しみを持てる教育をして欲しいという主旨でした。先ほどの私立園のようにカリキュラムとして英語を教え込むのではなく、英語に親しみをもち、英語を学びたいという意欲の土台づくりとして考えております。</p> <p>ただし、他県の事例における月1回程度の英語教育では意味がないと思っています。日々の幼児教育の中で英語の歌を歌ったり、ペープサートを行ったりすることは、英語の専門の先生でなくともできると考えています。</p> <p>今後は、英語教育の導入に向けて、総合教育会議で議論を重ねながら、検討してまいりたいと考えています。</p>
土方委員	<p>公立園に英語教育を導入した結果、小学校進学後にどのような成果が出たのかなど、現在取り組んでいる園の教職員や保護者などのご意見を参考にさせていただくことで、より具体的な議論ができると思います。</p>
黒田課長	<p>幼児教育中に英語教育を受けた子どもが小学校に進学後、その経験がどのように活かされているか問い合わせてみます。</p> <p>また、小学校の英語カリキュラムへの影響など、教育委員会として総合的に考えていく必要がありますので、教育長や教育委員の皆様にご相談しながら検討してまいりたいと考えております。</p>

松永市長	<p>今後、英語教育の導入を検討していくにあたり、まずは英語教育に取り組んでいる他県の公立施設などに通う保護者や子どもの様子、勤務されている教職員の考えのほか、小学校進学後の子どもの変化などについて聞き取り調査を行ってください。</p> <p>また、教育長にお聞きします。就学前の英語教育に取り組む公立園は全国的に見ても非常に少ないようですが、導入することは難しいでしょうか。</p>
金丸教育長	<p>市民から一定のニーズはあると私も捉えていますが、全国的に公立園の事例が少ないということは、難しいのではないかと感じています。導入を検討する際には、英語教育に取り組むことで、子どもたちに対してどのような変化や成果があるのか、また、どのような課題があるのかなどを、十分に把握していく必要があると思います。</p> <p>一方で、英語教育が早ければ良いか立証することはできませんが、少なくとも早い時期から英語嫌いになるのを防ぎたい、そして、日本の国語を大切にしたいという気持ちはあります。</p> <p>いずれにしても、英語教育を取り入れる場合には、現場の教職員が英語教育の大切さを認識し、納得感を持っていないと形だけのものとなり必ず失敗すると思いますので、十分に議論を重ね検討していけたらと、これまでの話を聞きながら思いました。</p>
松永市長	<p>他県の公立施設の状況だけではなく、プログラムとして英語を取り入れている市内私立園に対しても授業参観やヒアリングを行うなど、状況把握に努めてください。</p>
黒田課長	<p>私立園が英語教育を取り入れている背景として、園の人気を獲得することや、キリスト教関係の保育園であることが関係していると思います。</p> <p>また、コロナ禍でなければ、ネイティブの英語の講師を招聘し、ネイティブの発音を耳で聞いてもらうなど語感を育てる教育を行っていると聞いております。</p>
松永市長	<p>繰り返しになりますが、訪問した多くの保護者から要望があったということは、ニーズがあるものと認識しております。幼児教育の中で歌や絵本、ペープサートなどを通して日常的に英語が耳に入ってくることで、自然と英語に興味を持ってくれるような市独自の取組を、公立園や私立園を含め具現化する可能性を探っていきたいと思っています。</p>
松永市長	<p>その他、委員の皆様や事務局より何かご意見等ございますか。</p> <p><特になし></p>
松永市長	<p>それでは、本日の会議はこれで終了したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>